日刊いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

三菱ミシン
平市南町電〇六九
草野ミシン商會

平競輪やゝ好轉

今期賣上 千七百六十萬

黒字百萬圓を豫想

第四回平競輪最終日の十四日は優勝レースのためかファンは続々と詰めかけ二千二百一名の入場者があった、穴は平競輪初の事故のあった四レースの連で五千五百円同じく単で千三十円を筆頭に六レースの連は千二百円、八レースの連に千九百四十円が出て人気を呼び五百二十三万二千八百円の売上げがあった、なお四日間の総売上げは千七百六十六万六千四百円で約百万円の黒字となる見込みと言っている、各レースの勝者は次の通り

▽第一斎藤久夫（新潟）一分三十八秒六▽第二植草登（千葉）一分三十二秒二▽第三青木三枝（群馬）一分五十二秒三▽第四大戸一利（福島）二分十八秒▽第五山口一昭（群馬）二分四十七秒四▽第六小田切康祐（栃木）三分二十九秒一▽第七佐々木マサ子（神奈川）二分三十秒九▽八レース平田茂（東京）四分四十九秒九▽第九奥野和夫（群馬）四分二十七秒▽第十加古敏子（群馬）三分四十六秒五▽第十一柳沢福次（群馬）四分一秒九▽第十二高橋米吉（東京）二分二十秒一

平七丁目の青年會結成

平市第三十六区（七丁目）の青年男女は十三日夜七時から同町會神様に青年会結成会を挙げ役員を次の通り選任、青年会今後の運営に関する座談会など開いて意見の交換を行ない同九時有意義な会の幕を閉じた

会長松木通　副会長門馬隆司
会計小泉泰司　庶務飯木正夫

學校劇連盟を結成

會長に新家先生

二小）木村輝治（平五小）綴川不二男（植田小）栗城則雄（赤井二小）菅波きん市（高久小）掛田二郎（し撮学園）庶務会計山本徳子、中野正二郎、小泉あや子（各れも平三小）

同連盟の結成は石城地方の学校演劇界に新しい息吹を吹き込むもの として今後の活躍が注目されてる

入居者十五名

抽選で決定

二十五年度分庶民住宅の抽選は十五日午前十一時半から市役所土木課に過年度以来抽選して当らなかつた五十二名（抽選通告者五十八名）に通知を発したが、抽選会は十六日午前九時から平第三小学校に於て開き、抽選係者を集めて開き、彼員を次の通り決定した

会長　新家芳美（平三小）副会長　わら谷仲六郎（みまや小）金成兵司（平四小）理事　佐々木三雄（平一小）鈴木武雄（平二小）木村輝治（平五小）綴川不二男（植田小）栗城則雄（赤井二小）菅波きん市（高久小）掛田二郎（し撮学園）庶務会計山本徳子、中野正二郎、小泉あや子（各れも平三小）

平驛と機關區表彰

平驛（駅長大垣嘉六氏）では昨年十一月十六日から本年五月十日の十五日付で水戸管理局長より表彰された、又平機関区（区長保坂卯三郎氏）では一月十七日から四月十一月間責任運転無事故につき四月十一時半から平機関区にて受与式のため水戸管理局長から表彰状並に銅賞を受与それぞれ十五日午前

坐礁船の全員無事上陸

昨暁＝茨城県高松村波崎北七マイルの地点で座礁した江名町中之作字榎戸漁口俊夫氏所有カツオ船福盛丸（一四三トン）の乗組員船長作山俊夫氏以下十名全員は十四日夕五時高松村に上陸した、なお十五日朝県水試無線局に入った現場からの連絡によると船体は砂岡に突込んでいるため離礁至難とみられ一時放棄するの止むなきに至つたようだが一応東京某サルベージ会社に依頼離礁作業を実施する

四十五戸建設

本年度の庶民住宅

平市二十六年度分庶民じゆう宅の建設計画は十五日県から県費補助による五戸（三分の一補助）が今が幸運をつかみしばし悲喜ともこもの表情を漂わせていた

吳羽軍初優勝

地區對抗庭球大會

平庭球クラブ主催の第四回磐城地区クラブ対抗庭球大会は十三日午前九時より松ケ岡公園コートに於て十三クラブ参加の下に華々しく挙行された、実力伯仲の平ク、呉羽、古河、常磐、水泳、小名浜等の間に熱戦が展開されたが、平クの練習不足に引き換え呉羽軍は今春来の練習が効を奏し、新進渡辺中島組が健闘よく強敵平クの小川志賀組を破り初の優勝を遂げた、これで第一回常磐、第二回古河、第三回平ク、第四回呉羽と優勝カツプは一巡の形となり今秋の第五回大会が待ち遠しい

◇準決勝
呉羽3―2古河
平A3―2常磐
◇決勝戦
呉羽3―1平A
大浦　小川
新村0―4志賀
渡辺　佐藤（一）
中島4―1佐藤（善）
宮川　池内
北条4―1大庭

常任委員

湯本で決定

湯本町議会は十四日午後一時から開き常任委員会正副議長及委員の互選を行つた結果左の通り決定した

財務委員長廻瀬仲治　副管原正雄　土木委員長小井戸庄松　副佐伯政夫　経済委員長塚本中一　副若松英三　厚生委員長菅野四郎　副田野倭男　文教委員長鈴木道太郎　副橋本顕治　水道委員長高荻佐八馬　副松本庫蔵　都市計画委員長柳沼公助　副石川伝吉　消防委員長馬目徳蔵　副大平国市　失業対策委員長白石初太郎　副本田亜

柏原氏寄附

平市三丁目三井デパート主柏原光太郎氏は十五日亡母の遺志として市民生活援助資金に五千円を寄附した

母に感謝の作文に入賞

二中で表彰式

平二中では母の日にちなみ母に対する感謝と題する作文を生徒から募集中だつたがこのほど入賞者が

老婆が縊死

十五日午前零時半ごろ小名浜町松の中七六無職尚橋アサノさん（七四）は自室で首をくくつて自殺した、原因はえん世かららしい

上泉秀信氏

石城郡渡辺村出部はなわの自宅にて十四日夜八時二十五分急性すい臓炎にて急逝、五十二才、十六日自宅にて告別式

氏は早大英文科卒都新聞文化部長、編集次長を経任戦時中渡辺村に疎り愛村問題を研究中

天気予報

十五日

【今晩】南東の風やゝ強く曇時々雨の天気
【明日】南よりの風やゝ強く曇時々雨午後は北西の風天気は回復海上は夕夜半から南東の風強くなり風波高まる故各船は注意

民報論壇

消防施設の必要

田原登

わが平市の消防は県下随一であると自他共に許されているようであるが、それは団の規律ある訓練で敏速果敢に消火に従事出来る態勢をととのえているに過ぎないのである、消防施設に至つては自慢をしてよいものは先ずないのである、ポンプは七台あるが何れも老朽最も古いのが十八年、新しいもので八年を経過し水利は現在の上水道では圧力が少いので消火にこれを依存することは出来ないといつてもいい過ぎではないのである

斯うした消防の状況下に在つて一度び市内に猛火起らば一体どうなるか、しゆん時にして一億や二億の損害をこうむる事は先ず火を見るよりあきらかなことである対策として井上消防署長らは取り敢えず消防用タンクを五十カ所位設置したい案を樹てているが、タンクは一個三百石入るもので道路の下に埋没する、三百石の水はポンプ一台で四十分使用出来る、更に老朽ポンプを毎年一台ずつ更新しなければならぬ時きに至つている、これだけの施設をしなければいかに優秀な消防団員をもつていても威力を発揮することは出来ない日本は戦争によつて破かいされた家屋を漸次再建築として復興しているが、復興する家屋よりも火災で消失するもの、方がはるかに大であるといわれることは消防機能が全国的に低下しているのでないかとも思われ消防施設の充実は本市においては急速に必要である事は何人も異存が無いであろう

問題になるのはこれが施設費である、タンクは三百石入りが一個廿五万円五十の計は千二百五十万円、ポンプ更新費百五十万円合計千三百万円である、然しタンクは三年計画でもよいであろう、そうすれば一カ年タンク設置費約四百万円にポンプ更新費百五十万円合計五百五十万円となる、これに対し政府補助は少く問題にならないので結局

常任委員

湯本で決定

湯本町議会は十四日午後一時から開き常任委員会正副議長及委員の互選を行つた結果左の通り決定した

財務委員長廻瀬仲治　副管原正雄　土木委員長小井戸庄松　副

第7回定期 當籤番號發表

昭和26年5月12日抽せん

特賞拾万圓　13410　極組6番

1等	壹萬圓	似組	13410
2等	壹千圓	各組共通	18649　19108
3等	五百圓	下三けた	14729　12409
4等	100圓	下二けた	595
5等	30圓	下一けた	55
6等	10圓	残り全部	4

割増金支払開始日　昭和26年5月21日

東邦銀行

母キチ儀永らく病気療養中の処薬石効なく五月十四日午後五時三十分死去致しましたので生前の御交誼を感謝致し謹んで御通知申上げます
追て送葬の儀は五月十七日午後二時自宅出棺は堤院に埋葬致します
昭和二十六年五月十五日　平市三丁目二〇
喪主　柏原光太郎
男　柏原秀藏
柏原秀介
柏原武三
柏原進
柏原
小菅
熊吉
親戚代表

荷入量大
尾州檜原木
青森ひば
秋田板
㊀丸一材木店
電話　工場五五六　自宅二九〇

◇ナショナルラジオ◇
五カ月と六カ月の月賦販売を始めました
◇特選五球スーパー（一号型）一万三千円
（民間放送に最適の新放送バンド）
◇お披露げの御客様へサービス券進呈
一等ナショナルスーパーロースター一台　以下三等まで
◇特売き間五月一日より六月三十日まで
ナショナル製品代理店
ウロコヤ　橋本合資合社
平市四丁目　電四〇一

女中さん急募
年令二三、三才前後
委細面談
江戸前鮨し　松葉
小名浜町　電三四四

特選かみや
衣料品の店
かみや
平二　電256

開店御披露
江戸前壽司を始めました
◇持ち下日間は一割引サービスで奉仕致します◇
出前迅速
折詰仕出し
黒木屋
小名浜町古湊（緑屋前）

ニセモノ
◇偽物に御注意◇
最近平市内に
尼子まんじゆうの
ニセモノ
偽物が出て居ります
尼子の焼印に
御注意下さい
特許許可局
登録番號第五六一二番
尼子まんじゆう本舗
株式會社
平製パン
平市鍛治町　電二一番

猪瀬乙彦氏を憶う

湯本　江尻生

猪瀬氏が二代目の平市長として当時の市会の満場一致で迎えられたのは大東亜戦争直前だったからそんなに古い事ではない。氏の神にも近いような純真さが『我等の市長さん』として市民に親しまれてるのを見て喜んだのは私一人でなかつたと思う。

氏の政治的手腕の批判は第二としても氏の誠実にあふれた言動は氏に接した人々に多大の好感と信頼を与えたようだ、海軍大佐という肩書はあつても軍人特有の僻のない円満な人格をもつて居た、これは幼時先考の漢学教育の賜だつたとも言えよう。

氏は酒を愛した、酒の上の雑談は実に巧妙だつた殊にわい談に至れば古今内外に通じた逸品揃いでしかも上品洒脱聞く人々のシコリを解いてゆくのであつた。

戦争がか烈になつてからは市民に模範生活を垂れるべく御令けいにも協力せられ氏の台所生活が配給一本槍だつたことは有名だつた。氏の弁当箱はいつも小さな皮付ジヤガ芋だつた、人一倍の大食漢だつた氏故に大いに同情した。

氏の偉大な体格は日に日に細くなつて行つた、時々冠婚葬祭等に着用する昔の軍服のエリは大きく開き胴やズボンにも大きなシワが出来る始末だつた。私は会う毎にヤミ米、ヤミ物資の話をすすめたが氏は笑つて受け付けなかつた。

全く氏夫妻は当時の政府の殺人的食料政策に身をもつて貢献し何に一つ不平を言わなかつたのであつた。

そうした最中に氏は市会から追われて東京に去つた。しかも任き満了にもう三カ月という時だつた複雑な当時の市会を物語つたというよりも戦争が人間を不人情にしたのだろうと当時我々は考えた。

氏の東京生活も苦しかつたらしい。間もなく御令けいは衆議失調で亡くなられたそのころ猪瀬氏をよく訪問したり慰問したり関内代議士は猪瀬氏の気の毒な境遇を我々友人に伝えてくれた。その中自分も行かねばならぬと思つて二年三年はすぎて仕舞つた。

今春選挙戦最中に突如として氏のふが通知された。とうとうその中その中と思つて居た私の不精ざが猪瀬氏との再会を永遠に中絶して仕舞つた。自分は心から不人情な人間として自分を反省した。

選挙中だつた故に私と同じ思いの人々とも多いと思う氏には一人の実子もなくさびしい臨終だつたろうと思う。

猪瀬氏を知る人々は今もなお氏に無限の親しみをもつてるであろうことを信じつつ共に氏の冥福を祈りつつ筆をおく

大祝賀會を開催

相馬野馬追騎馬隊も出陣

廿六七日勿來跡で

古跡なこその関を中心に雄大にして風光明びの称ある菊多浦湾一帯の海岸線（なこそ海岸から植田、小浜間）は県立公園に指定となりなこそ植田、錦、泉の三町一カ村では県立公園に恥じない設備を施しもつて観光客誘致に万全をきさなければならぬと夫々具体案が練られている、なこそ町では関係町村の積極的応援を得て来る二十六七の両日に亘つて、県立公園指定大祝賀会をなこその関で盛大に催す事に決定を見た、経費は約四十万円、既に会場たるなこその関公園地内には四阿が新設されまた悪路も改修を了し万端の準備が大体出来上つている、町を挙げての一大行事であるというのでいろいろな趣向を凝らした余興其の他の催しで町は歓喜と祝賀の一色に塗りつぶされるのであるが祝賀第一日の呼物は相馬の野馬追い騎馬隊十騎が来るが時代をしのぶよろいびき武者姿で植田町に勢ろいし時を見計らつて威風堂々行進も大魚、江栗、錦町を経てなこそ町を一巡の上、なこそ跡へ到着のプランとなつている、この外各商店の店頭装飾コンクール並に第一第二小学校で服装展覧会又なこその関会場では芸能祭が華やかに開かれる、出演者は小中高校生と一般部の音楽と演劇が催され、優秀者に対して褒賞カップが授与される、なお祝賀会の役員及び具体的祝賀の行事其の他に就ては十六日再び協議会を開いて確定する、会長には新町長青木自信治郎氏が推挙される事は決定的で記念すべきこの画き的きよう宴祭に対し植田、錦、泉の三町村では全面的に応援し一段と光彩を添えんとして居り、空前のたにぎわいを呈するものと観測され其前人気はすごい

縣立公園指定

開校記念式

廿八日内郷一中

内郷一中では来る二十八日午前九時から開校記念式の後全校生徒のマラソン大会を行う、コースは男生徒は湯本町台の山自治会館（八キロ）女生徒は平市長橋（七キロ）

日野原旋風狀況報告か

廿五日總會

日本水素工業株式会社では二十五日午前十時より小名浜町高山の本社で定時株主総会を開き決算報告などが行われるが議題の附議事項終了後懇談の席上注野社長から〝日野原旋風〟の今までのイキサツについても説明が一応行われるもの様、なおこの問題は世論がきびしく同氏を批判したため流石の日野原氏もこのたくらみを一時中絶させた形にあるためようやく〝冷戦化〟しつつある、然し根本問題については依然氷解していないので会社側では激撃の態勢をかためている

紙芝居が保育所廻る

兒童福祉週間行事に

石城地方事務所では十六日児童福祉週間にちなみ郡下の保育所を巡回し、平市紺屋町熊谷円芝氏の紙芝居その他で慰安を行ない子供たちに楽しい歓びを与える

臨港道路と船溜工事

港灣協會總會で可決さる

小名浜町ではこの程富山県高岡市で開催された港湾協会第二十三回総会に町長、町議七名、同漁協組合長、役場吏員一名が出席十四日帰町したが同町では同総会に『小名浜港臨港道路（延長二千米幅員十五米）の補装工事を国直轄実施』『小名浜港外防波堤の延長並に船溜め整備工事の促進』の二要望事項を提案満場一致で採択、国会及び水産庁にその実現方を強力に押し進めることになつた

郷土の役員

縣連青で決定

十二日県庁会議室に開催された郷土振興樹立協議会に地元から平市連青馬目智夫郡連青より小泉磐夫也（小名浜）酒井忠夫（磐崎）大谷茂子（好間）の四氏が代表として出席した、翌十三日は県連青第一回評議委員会で役員改選があり女子副会長に大谷茂子さん、社会部長松田信三氏（平市連青）文化部長小泉磐夫也氏、同副部長酒井忠夫氏が推された、なお緊急動議として石の馬目氏から昭和村大火に同情し県連青十五万人の一人から一円の見舞金を徴集する旨の提案を提出満場一致で施行することになつた

日鑛委員會

十七日開く

日鉱常連第八回委員会は十七日午前十一時から大日本なこそ鉱業に開き、地方選挙批判、全国大会の提出議案審議、賃金交渉問題等

職員親善野球

内郷町小中高学校では来る二十六日午前九時から二中グランドで職員の親善野球及排球大会を行う

赤十字募金

赤十字街頭募金は十二日第五小の児童たちが四千九百三十三円四十銭、十三日には千草洋裁学院の生徒さん達が二万一千六十三円八十五銭の成績をあげた、なお五丁目では戸別四千七百五十円を十四日完遂した

役員を改選

湯本自治労働組合では十三日午後一時から幼稚園に百二十名が集まり役員改選を行つた結果会長角田保雄、副会長池出秀一、星正三書記長小宮燕が決定した

二小で植樹

緑の山から平和の光平二小では緑の週間にちなんでこのほどPTA有志から寄贈されたひいらぎ、紅葉、松等三十本を十一日校舎の周りに植えつけ緑の学園をつくることになつた、なお同校では先に二千本の檜の苗木を校庭の周りに植えつけている

會議

△石城地方事務所総務課の統計協会総会は十七日午前十時から

▽石城町村長会は十九日午前九時から

▽石城地方事務所農業改良課の農業普及打合会は二十一日午前十時から一各も地方事務所会議室で

反物ドロを二人で逮捕

茨城県高萩町字農名士工大内長二郎(三)は十三日午後二時二十分ごろ湯本町三函八七洋品店飯ぶち繁三郎(三)さん方から反物一反三千円相当を盗み逃げたが同洋品店番頭長出正吉(三)同学八士工小林領二さんの訓名が追跡逮捕湯本町署に突き出した

小名濱映寫會

小名浜町公民館ではナトコ映写会を次の日程で毎日午後七時半から開く、上映々画は〝漁る人々〟〝スポーツレビュー〟〝間題を解決する町〟など十巻

檢察審査會

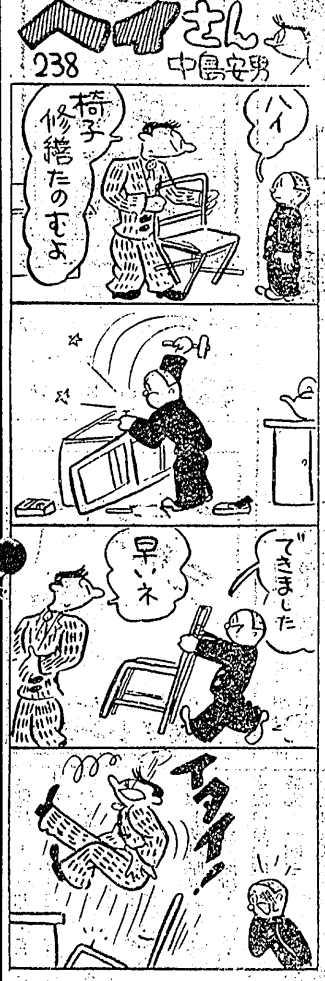
平検察審査会は十九日午前十時から同会事務局に開かれ会長の互選を行う

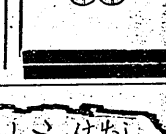
傷害

渡辺村字松小屋日本水素工員水野定江(三)小名浜町松の中七七士工馬目正夫(三)同町定西一六〇士工山本重雄(四三)の三名は昨年十一月二十五日夜十時半ごろ同町松の中四二清水泉氏宅で日水工作課員約三十名が集つて宴会を開いた際酔いていて同町松の中五二石工小池卯之助さん(三)とけんか、小池さんは顔面に全治二週間の傷を負つたことが判り十三日小名浜町署員に逮捕された

赤痢

好間村小館南区四二の桑原正子(八ツ)ちゃんは十三日真性赤痢と決定、隔離

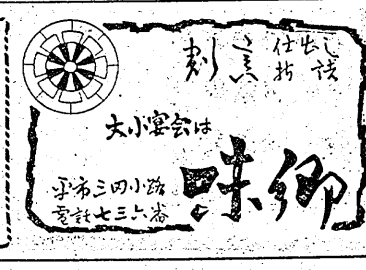




△十六日魚市場△十七日島（遠藤英徳氏宅）△十八日長瀬印刷所

JOCP ラジオ JONA
ローカル（16日）
送 郡山放
前二・一五 あぜみち通信『幼蚕の扱い方』県蚕糸課田中市男
後一・一五 子供の時間『童話と唱歌』
川名勇岩瀬郡鏡石小児童

初夏の夜に
明るい…
電氣スタンド
195円より
平3 電284
三井百貨店電氣部



外科一般
放射線科
【入院随意】
小名濱町古湊
馬目醫院
電話五三〇番

眼科
松崎醫院
内郷第二イワキ隣
電話(総)一二番

外科
内科
産婦人科
（入院随意）
前田醫院
稲田町本町通
電話一二四番